

## 特別の教育課程編成について（英語活動の実施）

### 1 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

小学校第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（1年生は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市大門小学校の教育課程 ※令和2年度版

区分	各教科の授業時数										道徳	特活	総合	英語活動 外国語活動	時数 総授業
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語					
1年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
2年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
3年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
4年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
5年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
6年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English（約8分のDVD）』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



### 2 本校の取組

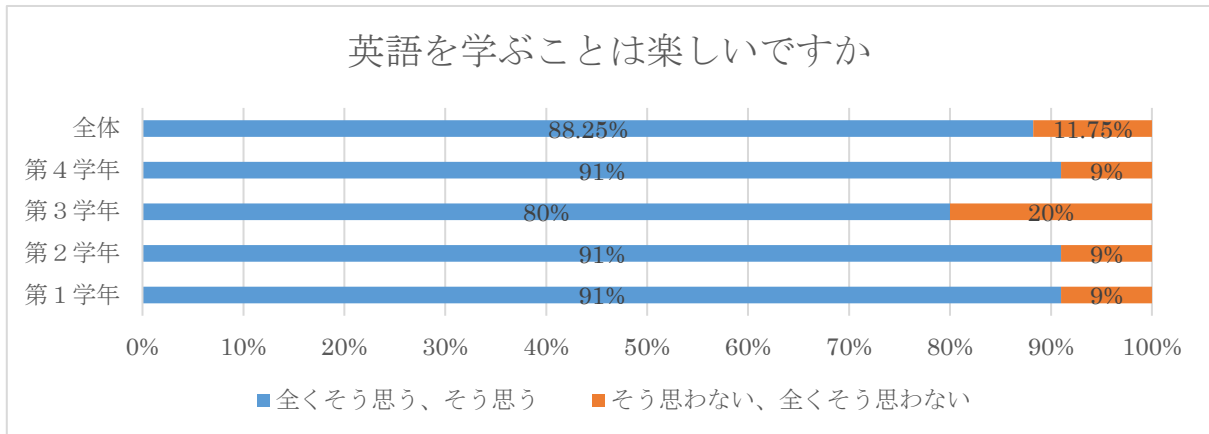
大門小学校では、毎日13時40分から13時50分を「がんばりタイム」の時間として1～4年生はDVD『OK English』の視聴をしています。この『OK English』は学年ごとに作成されており、1学年につき27セッションで構成されています。全てのセッションで、「Hello Hello Hello How are you…」という歌声からDVDが始まり、この時間になるとどの教室からも、子供たちが英語を口ずさみながら振り付けを真似して歌っている姿が見られます。その後、セッションごとに学習課題に基づき、市内ALTの先生とDVDに登場する児童が英語でやり取りする場面が流れます。このとき単に映像を視聴するだけでな

く、チャンツやリピーティングなどで英会話練習を行います。発音練習を繰り返しながら、少しずつ難易度が難しくなるように作られた DVD によって、児童は自然に、親しみながら英語を覚えていくことができています。また、どの学級も 1 週間（5 日間）ずっと同じセッションを視聴しています。

### 3 成果

令和元年度の 2 学期末に 1 年生から 4 年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語を学ぶことは楽しいですか」という質問に対して、「全くそう思う」、「そう思う」と回答した児童は全体で 88.25% でした。このことから、多くの児童が DVD 視聴を楽しみにしており、英語に対する前向きな姿勢がこの DVD 視聴によって生まれていることが分かります。

【資料 3】児童のアンケート（第 1 学年～第 4 学年）



### 4 学校関係者の声

学校関係者には、「これからの時代の中で、国際交流あるいはグローバルな視点で重要な意味合いを占める。従って、外国語教育は非常に大切なものと捉えている」という声をいただいています。このような声からも、低学年のうちから英語に慣れ親しむ機会は重要な機会と捉えています。

### 5 まとめ

資料 3 から、児童は日々の DVD 視聴を通じて英語で話された内容を概ね理解し、楽しんで学ぶことができています。また資料 4 から、保護者の方にも概ね児童の学力が身についていることを評価していただいています。このことから、英語活動を通して、「英語の話せる子」に近づきつつあることを実感しています。また、今年度 DVD 視聴のしていない高学年の先生からも、「4 年生まで DVD 視聴を続けてきた成果が、今年度から始まった外国語の授業で生かされています。特に、習ったことのある数字や天気、あいさつの仕方などはネイティブな発音で、スムーズに答えることができています」といった感想も聞かれます。今後の課題としては、自分が発声した英語が正しい発音かどうかの判断を教師が適切に行ったり、子ども同士の英会話の場面を講じたりしていく必要があります。また、今年度はコロナウイルスの影響から発声ができない状態が続いており、DVD を視聴するだけになってしまっています。一刻も早く皆で発声し、英語に親しみながら学ぶことができるよう、対策を講じていきたいと思ひます。